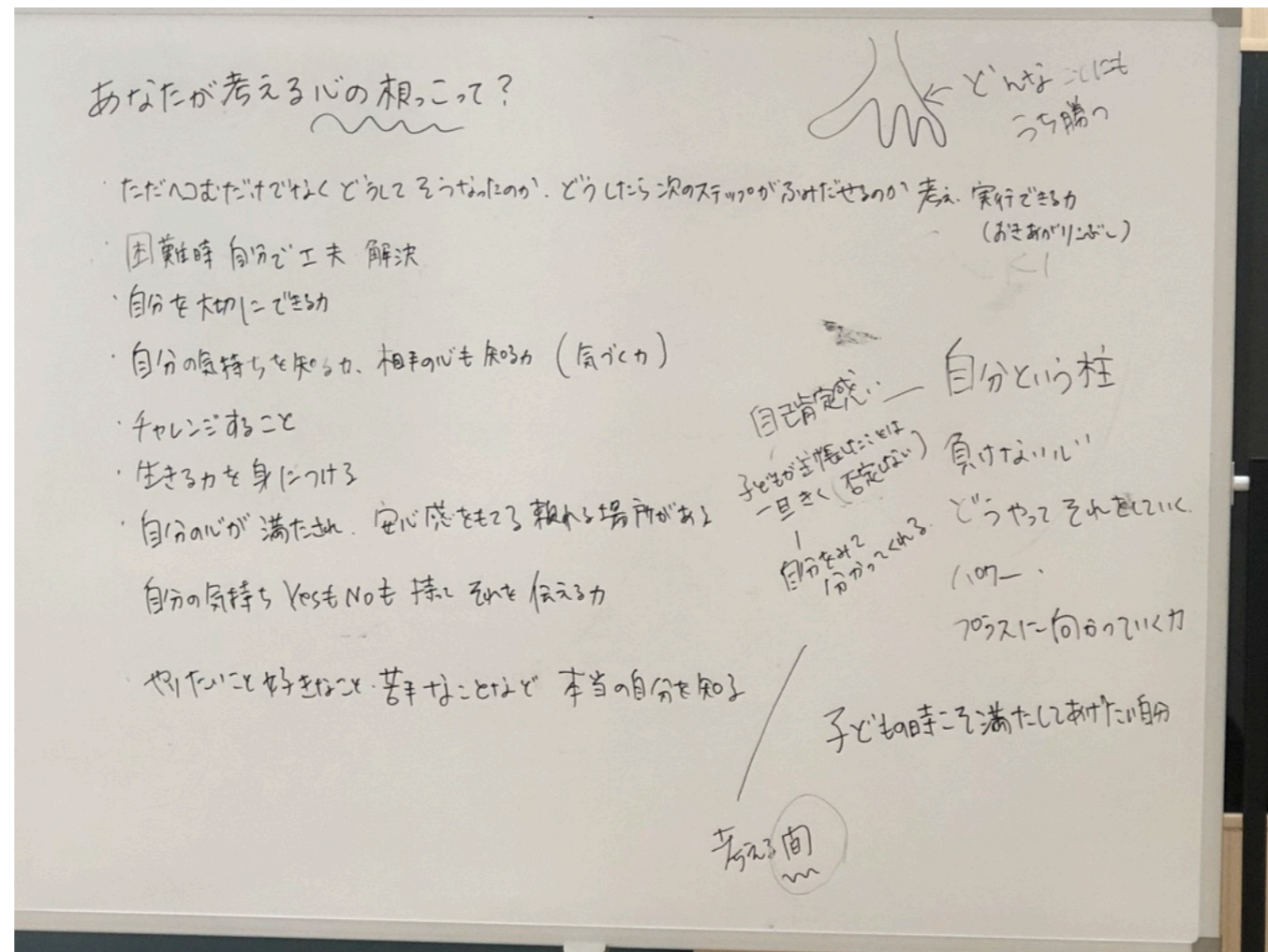


前回のミーティングで出てきたそれぞれが考える心の根っこ。

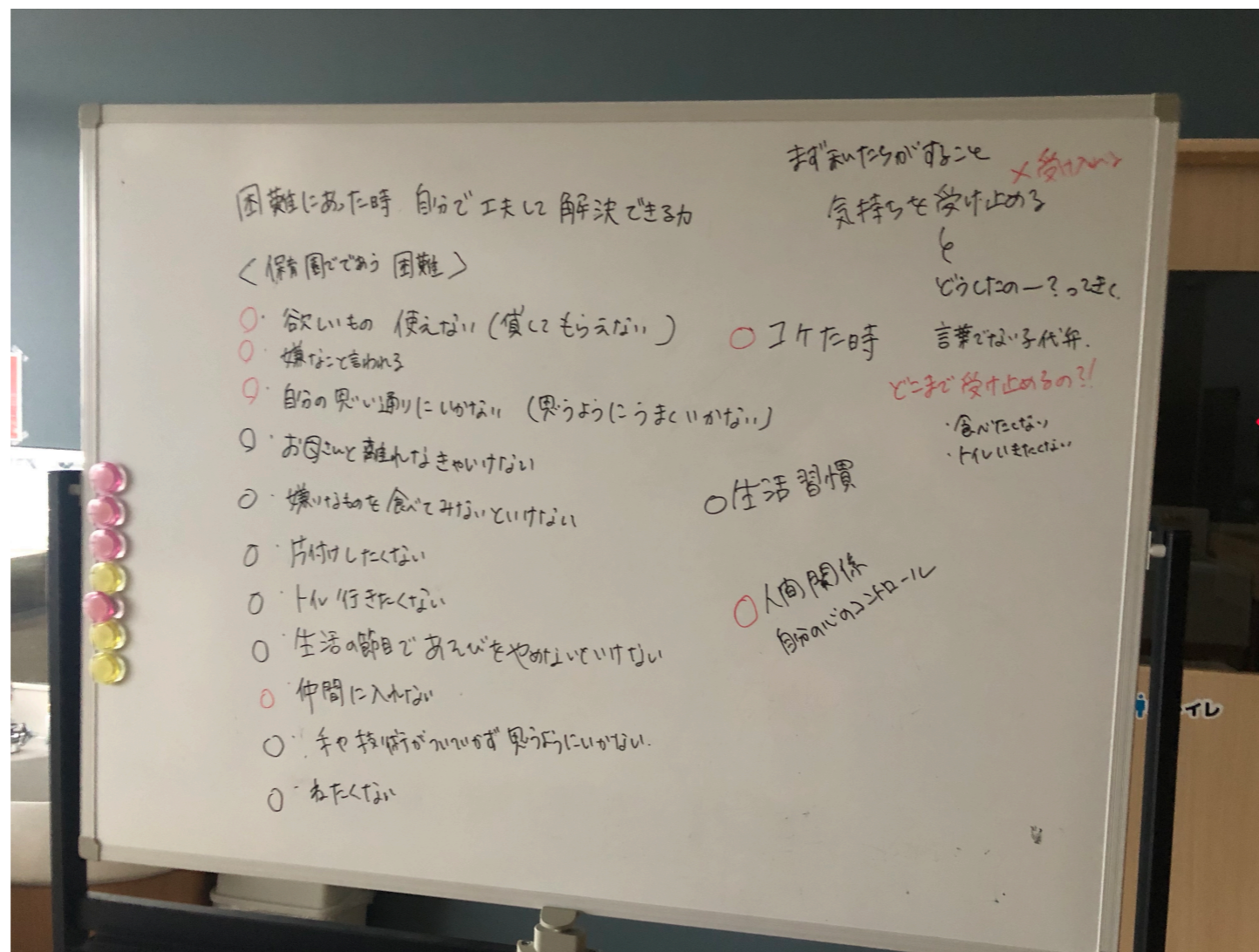


この中から

『困難に出会った時に自分で工夫したり解決する』

について視界の共有をしよう！！（前回のただ凹むだけでなく・・・とも共通する部分があると思うがあえて選んでみました。）

Q:保育園の中で子どもたちが体験する困難ってどんなことだろう



それぞれが考えたものを出してみると、大きく分けて二つの側面があったので色分けしてみた。

○人間関係や自分の心のコントロールに関すること。

○生活習慣の獲得のこと。

～どっちの要素も大切なこと～

大なり小なり生きていくと困難に出会うことってたくさんある。  
では、保育園で子どもが困難な場面に遭遇した時に  
私たちはどうしたらいいんだろう。

先日の全体ミーティングでも出たように、  
**まず、子どもの気持ちを受け止める。=受け入れるではない。**  
○言葉にならない子どもの気持ちを代弁する。

**どこまで受け止めていいかわからない。という疑問。**

「食べたくない」  
「トイレに行きたくない」



それは気持ちを受け止めるではない。“受け入れること”の解釈になる。  
どこまで受け入れるのではなく、そうなんだね。と、そのままの気持ちをまず受け止める。

もう少し深掘してみよう。

## 受け止めるってどういうこと？

- ①その子から出てきたものをそのまま〇〇なんだね。と受け止める。
- ②受け止めながらその子の根本の気持ちを探る。
  - ・子どもの話に出てきた言葉を使って尋ねる。
  - ・おちゃらけてみたり、あなたに怒っている訳ではない。と子どもが感じられるような配慮もする。
  - ・立ったままでなく、座ったりして子どもと視線を合わせる。
  - ・子どもの話を遮らない。（語尾に話を被せない）
    - ☆子どもの話を聞きながら心を沿わせ情報収集をする。
- ③その子なりの理由を聞く。



**受容・共感**につながる

<子どもにとって>

「受け止めてもらったという安心感」や  
「自分の気持ちを分かってくれて嬉しい」という実感になる。



**私はありのままの自分でいても愛されているという  
自己肯定感が育つ。**

あら♡  
それって心の根っこだ！